

平成 29 年度事業報告

本報告は、定款第 39 条に基づき監事の監査を受け平成 30 年度第 1 回理事会にて承認を得ております。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日）事業報告

< 概要 >

平成 23 年 9 月 1 日の公益社団法人化からの第 7 期目として、4 月 1 日より平成 29 年度の各事業をスタートさせた。5 月 19 日に社員総会を開催し、平成 28 年度決算書の件、および平成 27 年度決算書の内、正味財産増減計算書の一部につき過年度修正を行う件につき議決するとともに、平成 29 年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件、平成 28 年度事業報告等の報告を承認した。

平成 28 年度事業報告、同年度決算書については 6 月 20 日に、また、平成 29 年度事業計画、同年度収支予算計画については 3 月 28 日に内閣府に報告した。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1 事業）として、次の行動を行った。九州・沖縄支部の担当による第 71 回年次大会（開催市：沖縄県宜野湾市、会場：沖縄コンベンションセンター、会頭：山田耕路崇城大学教授）を開催し、1,740 名の参加を得て、基調講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、一般演題発表（ポスター）等を通じて、栄養科学・食糧科学の最新情報を交換する場となった。特に、昭和 22 年 5 月に当学会第 1 回大会を開催してから 70 周年にあたることから実施した、板倉弘重、阿部啓子、清水誠、伏木亨の 4 氏による記念特別講演、国際栄養科学連合次期会長 Dr. A. Martinez はじめ各国からの招聘演者による国際シンポジウムは大きな盛り上がりを見せた。また、第 72 回年次大会については中国・四国支部担当（会頭：辻英明岡山県立大学学長）で開催（開催市：岡山市、総社市、会場：岡山コンベンションセンター、岡山県立大学）することになり、その準備として、プログラム、会場、運営等の活動を精力的に進めた。支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公 2 事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第 70 巻 2 号～6 号、第 71 巻 1 号）し、欧文誌 JNSV 刊行においても定期的に出版（Vol. 63-No. 2～No. 6、）したが、数年来の検討を受けて、平成 30 年からはペーパーレス化を実施し、2 月の Vol. 64-No.1 より電子版を主とする公開とした。希望者には有料での冊子体の頒布を継続している。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反（COI）については、「栄養食糧学 研究の利益相反指針」並びにその細則の改訂案について広く意見募集し、その結果、これらを実施すべきとの多くの意見を得て、理事会の議を経て、1 年間の試行に入った。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集の Web 公開を継続実施している。

加えて平成 27 年度に新設した技術賞の選考を行い、2 件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に進め、個人会員 1 名からの寄付を得て、若手研究助成の対象枠を 1 名増とするとともに、学生優秀発表賞を次年度も継続すべく準備を行った。

I 会員の動き

1) 会員の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	35 名
終身会員	151 名
正会員	2969 名
学生会員	756 名
団体会員	64 件
賛助会員	71 件（84 口）
学会誌定期購読団体	111 件

2) 平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）物故会員（敬称略）

名誉会員	大村 浩久
終身会員	村田 晃、堀井 正治
正会員	江端みどり、大橋 博之、清水依理子、橋場 直彦、山田 幸二

3) 支部別会員数 平成 30 年 3 月 31 日付

会員種別	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	8 (+ 1)	91 (− 9)	32 (± 0)	3 (± 0)	1[1] (± 0)
東北支部	2 (+ 1)	7 (± 0)	160 (− 6)	38 (+ 4)	1 (± 0)	0[0] (± 0)
関東支部	17 (− 1)	58 (+ 2)	1177 (−35)	223 (− 3)	33 (± 0)	58[71] (+ 3)
中部支部	3 (+ 1)	17 (+ 2)	356 (− 3)	74 (− 5)	5 (± 0)	3[3] (+ 1)
近畿支部	5 (+ 1)	41 (+ 5)	617 (−24)	221 (−51)	9 (± 0)	7[7] (+ 1)
中国・四国支部	2 (± 0)	11 (± 0)	305 (+19)	92 (− 1)	10 (± 0)	2[2] (± 0)
九州沖縄支部	6 (± 0)	9 (+ 1)	259 (−12)	73 (+29)	3 (± 0)	0[0] (± 0)
海外	0 (± 0)	0 (± 0)	4 (± 0)	3 (± 0)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計	35 (+ 2)	151 (+ 11)	2969 (−70)	756 (−27)	64 (± 0)	71[84] (+ 5)

() 内は平成29年3月31日会員数に対する増減を示す。

II 各種事業活動の推進報告

< 栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1） >

1) 大会事業

(1) 第71回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 山田 耕路 崇城大学教授）

平成29年5月19日（金）～5月21日（日）沖縄コンベンションセンター

*70周年記念特別講演

「脂質栄養70年の展開と課題」

板倉 弘重（茨城キリスト教大学 名誉教授）

「食と健康の研究—その未来像に想いを馳せて」

阿部 啓子（東京大学大学院）

「変貌する機能性食品の世界」

清水 誠（東京農業大学）

「油脂のおいしさの科学」

伏木 亨（龍谷大学）

*特別講演

「日本栄養・食糧学会の将来への期待」

宮澤 陽夫

（東北大学未来科学技術共同研究センター）

「肥満・エネルギー代謝に関わる慢性炎症と食品因子」

河田 照雄（京都大学大学院）

「コレステロール代謝制御と食品機能」

佐藤隆一郎（東京大学大学院）

「消化管と食品栄養学」

原 博（北海道大学大学院）

*教育講演

「血栓症と栄養学の関わり」

津田 博子（中村学園大学大学院）

「機能性表示制度を活用した機能性緑茶の開発」

山本（前田）万里

（農業・食品産業技術総合研究機構）

「林原における研究開発—その理念と開発事例—」

福田 恵温（株式会社林原）

「機能性表示食品の今！」

青山 充（日本健康・栄養食品協会）

*国際シンポジウム「Nutrition Sciences and Action for Health and Smiles of the People in the World」

「Precision nutrition based on omics technologies」

Alfred Martinez

(President-elect of International Union of
Nutritional Sciences, Centre for Nutrition
Research, University of Navarra, Spain)

「The American Society for Nutrition: A key stakeholder in advancing the role of nutrition and health promotion and disease prevention」

Marian Neuhouser

(President of the American Society for
Nutrition, Fred Hutchinson Cancer Research
Center, USA)

「Genetic variants in key enzymes of choline metabolism and maternal choline intake during pregnancy influence the risk of preterm delivery and choline metabolism in preterms receiving total parenteral nutrition」

Jie Zhu

(Delegate of Chinese Nutrition Society
Department of Nutrition, Shanghai Jiao Tong
University School of Medicine, China)

「Application of the reaction flavor technology in food processing by-products for high valuable products」

Yong-Jun Cha

(President of the Korean Society of Food
Science and Nutrition Changwon National
University, Korea)

「Food and nutrition action and policy issues in Korea」

Moon-Jeong Chang

(President of the Korean Nutrition Society
Kookmin University, Korea)

「Food based dietary guideline: the Taiwan version」

Ching-Jang Huang

(Delegate of Nutrition Society of Taiwan
National Taiwan University, Taiwan)

*医学系学会との合同シンポジウム「動脈硬化性疾患予防のための生活療法」

「脂質異常症における食事療法の理解～『動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版をふまえて～』

藤岡 由夫（神戸学院大学）

「トランス脂肪酸と日本人における動脈硬化性疾患」

篠原 正和（神戸大学大学院）

「動脈硬化性疾患予防のための食事および運動療法の併用効果」

木庭 新治（昭和大学）

*シンポジウム 22 テーマ
*市民公開講座 1 テーマ
一般講演 723 題
参加者数 1740 名 (内 非会員 366 名)

(2) 支部事業

①北海道支部

*第 47 回日本栄養・食糧学会北海道支部会

平成 29 年 12 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日) 北海道大学大学院農学研究院

日本農芸化学会北海道支部と合同開催

特別講演

「植物色素ベタレインの活性酸素消去機能」

崎浜 靖子 (北海道大学大学院)

「化学生態学的現象に基づいた化学的微生物代謝制御法の開発に関する研究」

橋床 泰之 (北海道大学大学院)

「顕著な活性を有する生理活性物質の発見—農学的視点を見据えて—」

生方 信 (北海道大学大学院)

「不思議の国のポリフェノール物語 35 年」

川端 潤 (北海道大学大学院)

公開シンポジウム「糖・脂質代謝、食欲調節を理解し、これを制御する多角的なアプローチ」

「乳酸菌摂取による内臓脂肪低減作用とその多面的な作用機構」

城内 文吾 (九州大学大学院)

「食後の満足感を誘導する消化管オレオイルエタノールアミドとその生合成調節機構」

五十嵐美樹 (理化学研究所)

「膵 β 細胞の分化・増殖と血糖値調節への応用」

稲田 明理 (先端医療センター)

「GLP-1 を増やす食品成分、食事条件」

比良 徹 (北海道大学大学院)

参加者数 118 名 (内 非会員 95 名)

一般講演 20 題

②東北支部

*第 51 回日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成 29 年 10 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日) ヒロロ (弘前駅前交流施設)、弘前大学創立 50 周年記念会館

日本栄養・食糧学会東北支部 50 周年記念講演

市民公開講座

「時間栄養学から Active cook を創る」

加藤 秀夫・妹尾 良子 (東北女子大学)

特別講演

「栄養学はおもしろい」

木村 修一 (東北大学名誉教授)

参加者数 110 名 (内 非会員 60 名)

一般講演 15 題

③関東支部

*第 100 回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成 29 年 10 月 28 日 (土) 東京農業大学 世田谷キャンパス

記念シンポジウム「繋がる栄養・食糧の連携」

「農芸化学と食品づくり」

高野 克己 (東京農業大学長)

「応用化学研究としての食品科学研究」

佐藤隆一郎 (東京大学大学院)

「健康寿命の延伸に向けた食環境整備の必要性と課題」

武見ゆかり (女子栄養大学)

「栄養・食糧学の 70 年とアミノ酸科学の 60 年」

加藤 久典 (東京大学大学院)

「日本栄養・食糧学会の変遷と今後の問題」

下村 吉治 (名古屋大学大学院)

参加者数 93 名 (内 非会員 60 名)

*第 20 回脂質栄養シンポジウム

平成 30 年 2 月 3 日 (土) お茶の水女子大学

シンポジウム「脂質の消化・吸収と代謝の最前線」

「油脂の消化・吸収・代謝の基礎」

池田 郁男 (東北大学大学院)

「トランス脂肪酸の代謝と生理機能」

菅野 道廣 (九州大学名誉教授)

「スフィンゴ脂質の消化・吸収と代謝の研究」

菅原 達也 (京都大学大学院)

「ビタミン E の消化・吸収と代謝の研究」

竹中 麻子 (明治大学)

参加者数 184 名 (内 非会員 142 名)

*第 101 回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成 30 年 2 月 25 日 (日) 東京慈恵会医科大学 1 号館 3 階講堂

シンポジウム「ガイドラインから見た食事療法の新たな展望」

「慢性腎臓病における食事療法の在り方」

菅野 義彦 (東京医科大学)

「高齢者の栄養とフレイル—生活習慣病を中心に—」

荒木 厚 (東京都健康長寿医療センター)

「動脈硬化と脂質栄養」

吉田 博 (東京慈恵会医科大学)

「糖尿病食事療法における炭水化物の意義」
参加者数 66名(内 非会員 38名)

石田 均(杏林大学)

④中部支部

*第72回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成29年7月8日(土) 岐阜大学応用生物科学部
特別企画「吉田昭先生の思いで」

青山 頼孝(日本栄養・食糧学会 名誉会員)
加藤 範久(広島大学)
早瀬 和利(愛知教育大学)
堀尾 文彦(名古屋大学)

公開シンポジウム「タンパク質、ペプチド、アミノ酸に関する最近の進歩—吉田 昭先生を偲んで—」
「タンパク質、ペプチド、アミノ酸の生体調節機能の現状と展望—腸管での働きを中心に—」

「個々のアミノ酸の栄養特性と脳機能」
「タンパク質、ペプチド、アミノ酸の脂質代謝調節機能」
「必須アミノ酸の起源」

清水 誠(東京農業大学)
横越 英彦(静岡県立大学名誉教授)
長岡 利(岐阜大学)
小田 裕昭(名古屋大学)

参加者数 96名(内 非会員 59名)

*第73回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成29年11月25日(土) 岐阜大学応用生物科学部(101多目的ホール)
特別講演

「ヒトの老化と膜脂質過酸化:食による加齢性疾病の予防を目指して」

宮澤 陽夫
(東北大学未来科学技術共同研究センター)

参加者数 135名(内 非会員 100名)

一般演題 11題

⑤近畿支部

*第8回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成29年12月3日(日) 龍谷大学 響都ホール
「日本人の心血管疾患予防のための食事」
「運動器のリハビリテーションから健康 長寿を考える」

中村 保幸(龍谷大学)
上條義一郎(和歌山県立医科大学)

参加者数 127名(内 非会員 90名)

*第56回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成29年11月18日(土) 龍谷大学 農学部(瀬田キャンパス)
公開特別講演

「健康のための全身運動と和のテイストを活かした補給食」
「日本料理の不易流行」

石原 健吾(龍谷大学)
中村 元計(相伝京の味なかむら)
高橋 拓児(木乃婦)
才木 充(京料理直心房さいき)

参加者数 210名(内 非会員 8名)

一般演題 74題

⑥中国・四国支部

*第50回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

平成29年11月11日(土)~11月12日(日) 鳥取大学 鳥取農学部1号館
市民公開講座

「なぜ野菜・果物にビタミンCが豊富に含まれているのか?」
「ミドリムシってどんな食品?—ミドリムシ研究の現状と将来の可能性について—」

石川 孝博(島根大学)
岩田 修(株式会社ユーグレナ)

特別講演

「きのこは宝の山—きのこ抽出物ライブラリーからの生理活性物質の探索」
「食品成分と骨格筋の健康増進」

石原 亨(鳥取大学)
山地 亮一(大阪府立大学大学院)

参加者数 81名(内 非会員 15名)

一般講演 24題

⑦九州・沖縄支部

*平成29年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

平成29年10月28日(土) 長崎県総合福祉センター
平成29年10月29日(日) 長崎県立大学

日本食品科学工学会西日本支部と合同大会開催

公開市民フォーラム「日本食と健康寿命」

「健康寿命の延伸と食環境 ~和食文化継承と減塩~」

早瀬 仁美(奈良女子大学)

「日本食は長寿食！？ ～時代によって変化する食事を比較することによって分かったこと～」

都築 毅 (東北大学大学院)

立花 宏文 (九州大学大学院)

「日本食素材の機能的相互作用」

参加者数 149名 (内 非会員 67名)

一般講演 37題

2) 大会事業準備

(1) 第72回日本栄養・食糧学会大会の開催 (会頭 辻 英明 岡山県立大学理事長兼学長)

平成30年5月11日(金)～5月13日(日) 岡山県岡山市・総社市

*特別講演 4題

*教育講演 4題

*シンポジウム 20テーマ

*市民公開講座 1テーマ

一般講演 538題

(2) 第73回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成31年5月17日(金)～5月19日(日) 静岡県静岡市

中部支部(大会準備責任者 合田 敏尚 静岡県立大学副学長)が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第74回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成32年度の本大会の開催担当支部及び開催地が東北支部で宮城県仙台市において実施予定となった。(第4回理事会10/29決議)

大会準備責任者として、宮澤 陽夫 東北大学名誉教授・同大学未来科学技術共同研究センター教授が選任された(第4回理事会10/29決議)。

3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(5/19)が開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/16)が開催され、平成30年度表彰の功労賞3件、学会賞3件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者3件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

①学術企画の支援として学会活動強化費申請(4件)のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。

②栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成・国際助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。

③学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 平成29年度表彰授与式開催

①平成29年度受賞者

功労賞 3件 塩見 徳夫 田所 忠弘 山下 かなへ

学会賞 3件 合田 敏尚 関 泰一郎 長澤 孝志

奨励賞 3件 永塚 貴弘 栗原 晶子 原田 直樹

技術賞 2件 花王株式会社(竹下 尚男、桂木 能久、長谷 正、村瀬 孝利、高瀬 秀人

北海道大学名誉教授 齊藤 昌之、北海道大学大学院 米代 武司)

株式会社明治(逸見 隼、牧野 聖也、狩野 宏、浅見 幸夫)

②平成29年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成 五十嵐美樹 亀井 康富

栄養・食糧学基金若手研究助成 伊藤 隼哉 夜久 圭介

(5) 平成30年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌第70巻4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成前期の募集を学会誌第70巻6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

(6) 表彰事業の協賛のため5企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞 (公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞

(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞

イノベーター・オブ・ザ・イヤー事務局/イノベーター・オブ・ザ・イヤー

国立研究開発法人科学技術振興機構/井上春成賞 (公財)上原記念生命科学財団/上原賞

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞
第一生命保険株式会社/保健文化賞(公財)
(公財)辻静雄食文化財団/辻静雄食文化賞
(公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞
(独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞
(公社)日本看護協会/ヘルシー・ソサエティ
三島海雲記念財団/三島海雲学術賞
(一財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞

慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞
食の新潟国際賞財団/食の新潟国際賞
(一財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、食と環境の科学賞
(一社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞
(一社)日本病院会/山上の光賞
福井県小浜市/杉田玄白賞(公財)
(公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞

②研究助成募集の周知

(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団
(公財)上原記念生命科学財団
(公財)浦上食品・食文化振興財団
国立研究開発法人科学技術振興機構(一財)旗影会
公益信託家政学研究助成基金
(一社)Jミルク
(公財)ソルト・サイエンス研究財団
(公財)ダノン健康栄養財団
(公財)東洋食品研究所
(一社)日本医師会
(公財)日本科学協会
(一財)ニッポンハム食の未来財団
(公財)不二たん白質研究振興財団
抹茶と健康研究会
(公財)本庄国際奨学財団
(公財)森永奉仕会
(公財)山崎香辛料振興財団
(公財)ロッセ財団
ビール酒造組合

(公財)医療科学研究所
うま味研究会
(公財)エリザベス・アーノルド富士財団
(一財)キャノン財団
(公財)サッポロ生物科学振興財団
(公財)杉浦記念財団
(公財)タカノ農芸化学研究助成財団
(一社)中央味噌研究所
(公財)内藤記念科学振興財団
笹川医学奨学金制度弁公室
(公財)日本食品化学振興財団
(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団
ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社
(公財)ホクト生物科学振興財団
(公財)三島海雲記念財団
やずや食と健康研究所
(公財)山田科学振興財団
山田養蜂場

(8) 外部団体への推薦

①公益財団法人 森永奉仕会

- i) 平成 28 年度森永奉仕会研究奨励金受賞(平成 29 年 7 月 4 日受理)
- ii) 平成 29 年度森永奉仕会研究奨励金
各種授賞等選考委員会にて審議の結果、1 件を学会として推薦

②公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団

- i) 平成 29 年度飯島藤十郎食品科学賞
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1 件を学会として推薦
- ii) 平成 29 年度研究者の海外派遣援助申請者募集
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1 件を学会として推薦、3 月 12 日に交付決定通知

③公益財団法人山田科学振興財団

平成 30 年度研究援助候補者
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、2 件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

第 71 回大会時に下記関連学術集会を支援

- ①スポーツ栄養学研究会の開催
- ②コラーゲンペプチド機能研究会開催
- ③ヒトエネルギー代謝研究若手の会開催
- ④Hindgut Club Japan サテライトシンポジウム開催

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記 2 テーマで、栄養成分表示・栄養教育の検討は非常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は平成 28 年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 栄養成分表示・栄養教育の検討

第 71 回大会にて「食品の栄養・健康強調表示」のタイトルでシンポジウムを開催
総説「保健機能食品の課題と展望」を日本栄養・食糧学会誌第 70 巻 3 号に掲載
本委員会の 2 年間の延長を申請

(2) 栄養・食糧学用語に関する検討

栄養・食糧学用語辞典（第2版）における見出し語ならびに説明文の検証を行い、修正した用語と新規に収録した用語等をホームページに掲載した。

5) 国際交流事業

(1) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係

宮澤陽夫 IUNS 理事を通して IUNS 理事会との連携を密にした。IUNS の 2017 年からの理事候補者、Living Legend、Fellow について、日本学術会議 IUNS 分科会を通じて候補者を推薦した。Living Legend に小林修平人間総合科学大学教授、Fellow に清水誠東京農業大学教授がそれぞれ決定した。

IUNS 理事として、宮澤陽夫東北大学教授が再選された。日本学術会議の第 24 期の IUNS 分科会が発足し（加藤久典委員長）、その活動を継続して支援した。

(2) 21st IUNS-International Congress of Nutrition (ICN2017) 関係

ブエノスアイレスで開催された第 21 回会議において、日本アミノ酸学会、国際アミノ酸科学協会と合同でシンポジウム（“Novel Functions and Uses of Amino Acids”）を開催した。

(3) 22nd IUNS-ICN (ICN2021) 関係

組織委員会を中心に準備を進めた。第 71 回大会の際に、Alfredo Maltinez IUNS 会長を招待し、会場となる東京国際フォーラムを視察していただいた。ICN2017 において、ブースの設置などにより、22nd IUNS-ICN の広報活動を行った。

(4) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS) 関係

同会会長の宮澤陽夫東北大学教授、事務局長の加藤久典東京大学特任教授による 3 年目の体制において、加盟学会と様々な連携を行った。FANS Newsletter No. 14 を発行した。

ICN2017 において FANS 主催のシンポジウム（“The Past and Future of Asian Food Culture and Nutrition Security: Strengths and Weaknesses”）を開催した。ICN2017 において FANS 総会、FANS 理事会を開催した。

(5) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係

IUFoST Japan と連携しその事業を支援した。

(6) 海外関連学会との連携

第 71 回大会に、IUNS 会長および MOU 締結 5 学会の代表を招待し、70 周年記念国際シンポジウムでの講演をしていただいた。新たに台湾保健食品学会（Health Food Society of Taiwan）と MOU を締結した。

(7) 第 72 回大会の国際シンポジウムを日本栄養改善学会、日本学術会議 IUNS 分科会との共催として、” Food regulation and consumer needs in the world “のタイトルのもとに企画して準備を行った。

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

(1) 倫理審査申請依頼（申請書番号 83 番）に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、審査結果に基づき承認

(2) 倫理審査申請依頼（申請書番号 84 番）に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、審査結果に基づき承認

(3) 倫理審査申請依頼（申請書番号 85 番）に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、審査結果に基づき承認

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2） >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(一財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 第70巻2号～6号、第71巻1号

①投稿状況

2018年3月31日現在 投稿数（うち採択数）

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報
2016年4月	3(2)	0	2(1) ^{注1}	1(1) ^{注2}	0	0
2016年5月	0	0	0	0	0	0
2016年6月	4(1)	1(1)	3(0) ^{注3}	0	0	0
2016年7月	4(1)	1(1)	2(0) ^{注4}	1(0)	0	0
2016年8月	2(1)	0	2(1) ^{注5}	0	0	0
2016年9月	4(4)	1(1)	1(1)	0	2(2)	0
2016年10月	1(0)	0	0	0	0	1(0)
2016年11月	0	0	0	0	0	0
2016年12月	5(2)	0	3(2)	2(0)	0	0
2017年1月	5(3)	0	3(2)	2(1)	0	0
2017年2月	0	0	0	0	0	0
2017年3月	3(2)	1(1)	1(0)	1(1)	0	0
2017年4月	3(2)	0	3(2)	0	0	0
2017年5月	2(1)	0	2(1)	0	0	0
2017年6月	3(3)	3(3)	0	0	0	0
2017年7月	3(3)	1(1)	1(1)	0	1(1)	0
2017年8月	4(2)	1(1)	3(1)	0	0	0
2017年9月	3(2)	1(1)	2(1) ^{注6}	0	0	0
2017年10月	5(1)	0	5(1)	0	0	0
2017年11月	1(1)	0	0	0	1(1) ^{注7}	0
2017年12月	2	0	2 ^{注8}	0	0	0
2018年1月	0	0	0	0	0	0
2018年2月	2(1)	1(1)	0	0	1(0)	0
2018年3月	2	0	1	0	1	0

※採否が確定していない論文がある月：2017年12月、2018年3月

注1) 2報とも過去に不採択となった報文の再投稿で、1報は採択され1報は不採択

注2) 過去に取り下げられた報文が研究ノートとして再投稿され、採択

注3) 2報は不採択（うち1報は7月に再投稿されるも不採択）、1報は取り下げ

注4) 1報は取り下げ（9月に資料として再投稿され、採択）、1報は不採択

注5) 不採択の1報は9月に資料として再投稿され、採択

注6) 不採択の1報は10月に再投稿されるも不採択

注7) 平成29年度技術賞

注8) 1報は審査中、1報は不採択

*2016年度 投稿論文 31編

採択率 55%（取り下げ除く）

掲載可 16編（平均所要日数87日） 掲載否 13編（平均所要日数41日）

取り下げ 2編 審査中 0編

*2017年度 投稿論文 30編

採択率 59%（取り下げ及び審査中除く）

掲載可 16編（平均所要日数84日） 掲載否 11編（平均所要日数27日）

取り下げ 0編 審査中 3編

②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	書評	計
70-2	1	2				1	4
70-3	1	1	1	1		1	5
70-4		3				1	4
70-5	2	1				1	4
70-6	2	1				1	4
71-1	2	1					3
総計	8	9	1	1		5	24

③刊行状況

巻号	納本日	予定日
70-2	4月10日	4月10日
70-3	6月9日	6月10日
70-4	8月10日	8月10日
70-5	10月10日	10月10日
70-6	12月11日	12月10日
71-1	2月9日	2月10日

④編集委員会を2017年5月20日に開催した。

学会誌投稿規定を改定し、第71巻1号から学会誌におけるCOI管理を開始した。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 63-No. 2~No. 6, Vol. 64-No. 1の刊行

JNSV編集委員会報告

平成30年3月3日現在

理事会			分野別投稿数						分野別採択数						備考
資料提出日	Vol	年	Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	R	Note	
3月25日	63	2017	45	5	31	9	1	7	21	4	13	4	0	1	63-2まで
5月18日			78	10	54	14	2	14	30	6	18	6	0	2	63-3まで
7月9日			109	15	72	11	3	19	39	6	25	8	1	3	63-4まで
10月29日			156	23	101	32	9	21	60	12	36	12	1	6	63-6まで
1月28日			192	33	123	36	11	26	59	12	36	12	1	6	63-6まで
3月24日	64	2018	39	8	26	5	2	9	21	6	10	5	4	1	64-2まで

Total は、V, N, Fの合計。

(各号の内訳)						
Total	V	N	F	R	Note	巻号
11	2	7	2	0	1	63-1
10	2	6	2	0	1	63-2
9	2	5	2	0	1	63-3
9	2	5	2	0	1	63-4
10	3	5	2	0	1	63-5
11	1	8	2	0	3	63-6
11	2	4	5	2	0	64-1
10	4	6	0	2	1	64-2

V:ビタミン N:栄養 F:食品 R:総説

Vol. 55													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	15	9	21	13	6	10	21	13	21	13	16	7	165
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		13		15		16		12		12		10	78
Vol. 56													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	24	7	19	23	10	12	13	12	16	15	11	10	172
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		13		11		10		9		10		15	68
Vol. 57													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	15	9	10	13	14	16	19	18	14	10	15	167
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		18		12		9		8*		9		9	65
													*IUNS報告を除く
Vol. 58													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	6	14	17	10	12	8	13	18	17	14	12	12	153
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		11		10		12		10		11	65
Vol. 59													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	12	14	17	12	13	10	16	11	7	11	9	12	144
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		12		12		15		14		16	80
													*59-Suppl.を除く
Vol. 60													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		10		10		10*		12		9		14	55
													*IUNS報告を除く
Vol. 61													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		15		14		12		10		11		13	75
Vol. 62													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	15	26	17	219
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		10		8		10		14		9	62
Vol. 63													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	21	20	16	15	23	14	15	12	11	15	14	16	192
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		9		9		9		10		11	59

JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No. *	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数		投稿数	掲載数		
50	2004	107	18	15	68	48	21	11				75	465
51	2005	115	26	14	76	49	13	15	1	15	17	78	499
52	2006	137	19	17	88	43	30	11	1	16	11	71	497
53	2007	134	22	16	92	51	20	21	2	18	17	88	577
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11	81	531
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20	80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11	66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17	75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9	62	451
63	2017	192	33	12	123	36	36	11	1	26	6	59	446

* V, N, Fの合計。

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%
注) 新システムでは採択率=採択数/採択数+却下数になります。				
論文提出日		2016/1/1-2016/12/31		
採択数		63		
却下数		120		
			183	34.42%
論文提出日		2017/1/1-2017/11/30		
採択数		53		
却下数		95		
			148	35.81%

②投稿数・掲載数ともに順調に推移し、発行状況も順調に推移している (インパクトファクター0.674)

JNSV 活性化のため FANS のメンバー8名を Editorial Board に加えることになった。

③編集委員の交代 (6名)

(3) 学会監修出版物

「非栄養素の分子栄養学」 芦田 均、薩 秀夫、中野 長久

建帛社

2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

(1) 報道機関向け広報

①第71回大会開催にあたり、報道機関へプレスリリースを実施した。(平成29年4月28日)

②第72回大会開催にあたり、報道機関へ事前に主なテーマについての発表(平成30年4月27日)実施の準備

(2) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関(大学・官庁等)からの情報、依頼記事(募集・告知等)について、広報推進を行った。

①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載

②会員向けメールマガジン栄養ニュースは1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下17号発信

2017-4-臨時号(通算174号 4/4)、2017-4-臨時号(通算175号 4/7)、2017-4(通算176号 4/10)、2017-4-臨時号(通算177号 4/13) 2017-5(通算178号 5/10)、2017-6(通算179号 6/12)、2017-7(通算180号 7/10)、2017-8(通算181号 8/10) 2016-9(通算182号 9/11)、2017-10(通算183号 10/10)、2017-10-臨時号(通算184号 10/16) 2017-11(通算185号 11/10)、2017-12(通算186号 12/11)、2017-12臨時号(通算187号 12/21)、2018-1(通算188号 1/10)、2018-2(通算189号 2/13)、2018-12-臨時号(通算190号 2/19)、2018-3(通算191号 3/12)

③国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

*日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース(No.589~No.628)の周知の実施

*日本医学会

シンポジウム等の開催周知協力の実施

III 管理業務報告

(1) 内閣府からの通知・連絡対応

①内閣府より

- *公益法人メールマガジン（第18号～第42号）受理
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（4/1）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（5/1）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（6/1）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」受付のお知らせ（6/20）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 A（1/1 受理）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 B（2/1 受理）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 C（3/1 受理）
- *メール通知「事業計画書等の提出完了」（整理番号 1800115198）の案内（3/28）

②内閣府へ

- *「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」を HP に掲載（4/1）
- *平成 28 年度事業報告書等をオンライン提出（6/20）
- *平成 30 年度事業計画書等をオンライン提出（3/28）

(2) 文部科学省

- *平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（6/2 受理、7/24 回答）

(3) 厚生労働省

- *医薬品・医療機器安全性情報 No. 342～No. 351 の周知依頼

(4) 農林水産省

- *特になし

(5) 日本学術会議

- ①日本学術会議発行メールニュース（No. 589～No. 628）の周知
- ②生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③[nozip]平成 29 年度協力学術団体に対する実態調査について（10/16、10/20 回答、11/10 修正）

(6) 日本医学会・日本医学連合

- ①[ibunka-ml]の周知
- ②[all-member]の周知
- ③日本医学会だよりの掲載
- ④日本医学会に関するアンケートの回答
- ⑤第 3 回研究倫理教育研修会（平成 29 年 5 月 25 日）への出席
- ⑥医学会連合定時総会への出席（平成 29 年 6 月 15 日）への出席
- ⑦日本医学会・医学用語委員会（平成 29 年 12 月 22 日）への出席
- ⑧医学会連合連絡協議会への出席（平成 30 年 2 月 23 日）への出席
- ⑨日本医学会定例評議員会（平成 30 年 2 月 28 日）への出席

(7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・タマゴ科学研究会「第 5 回タマゴシンポジウム」後援
- ・一般社団法人日本応用糖質科学会「日本応用糖質科学会平成 29 年度大会・応用糖質科学シンポジウム」後援
- ・森永乳業株式会社「森永乳業創業 100 周年記念 国際シンポジウム」後援
- ・日本アミノ酸学会「日本アミノ酸学会 第 11 回学術大会」後援
- ・公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間 2017」後援
- ・一般社団法人日本食物繊維学会「日本食物繊維学会第 22 回学術集会」協賛
- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会—大豆のはたらき in 大阪—おいしさと健康を通して」後援
- ・日本食品・機械研究会「第 16 回高付加価値食品開発のためのフォーラム」協賛
- ・公益社団法人 日本油化学会「第 17 回基準油脂分析試験法セミナー」協賛
- ・静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会「第 22 回静岡健康・長寿学術フォーラム」後援
- ・公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成 29 年度『食育健康サミット』」後援
- ・食品化学新聞社「ifia JAPAN 2018—第 23 回国際食品素材／添加物展・会議」HFE JAPAN 2018 第 16 回ヘルスフードエキスポ」後援
- ・日本糖質学会「第 36 回日本糖質学会年会」共催
- ・一般社団法人日本骨代謝学会「第 36 回日本骨代謝学会学術集会におけるシンポジウム」共催
- ・The Study Group of Rice and Health, Japan「第 3 回国際シンポジウム『コメとグローバルヘルス ～コメとコメ糠の科学～』」後援
- ・日本消化吸収学会「第 49 回日本消化吸収学会総会におけるシンポジウム」共催・後援
- ・一般社団法人日本キッチン・キトサン学会「第 32 回日本キッチン・キトサン学会大会」協賛

- ・食品ハイドロコロイド研究会「第29回食品ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2018」協賛
- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第19回ダノン健康栄養フォーラム」後援
- ・日本アミノ酸学会「第5回産官学連携シンポジウム」協賛

(8) 利益相反 (COI) 関連

平成28年3月28日の理事会で決定したCOI指針・細則及びその付属文書の意見募集を行った。その結果COI指針・細則の施行日を平成29年7月9日とし、ホームページに掲載。1年間は試行期間とする。

大会での発表時、WebCOI申告システムを使用する。

役員、各種委員会委員等のCOI報告申告書提出を要請

IV 総会、理事会、等の開催状況

(1) 社員総会

平成29年 5月19日(金) 9:00～9:50 沖縄コンベンションセンター 劇場ホール

(2) 理事会

平成29年 4月16日(日)	13:30～15:00	お茶の水女子大学
平成29年 5月18日(木)	15:00～17:00	ホテルサンパレス 球陽館 パレスコートB
平成29年 7月9日(日)	13:30～17:10	お茶の水女子大学
平成29年 10月29日(日)	13:30～16:30	お茶の水女子大学
平成30年 1月28日(日)	13:30～17:00	お茶の水女子大学
平成30年 3月24日(土)	13:30～17:00	東京大学

(3) 業務執行理事打合せ

平成29年 7月2日(日)	13:30～17:00	お茶の水女子大学
平成29年 10月7日(土)	13:30～17:00	お茶の水女子大学
平成30年 1月6日(土)	13:30～17:00	お茶の水女子大学
平成30年 3月10日(土)	13:30～17:00	お茶の水女子大学

(4) 名誉会員・顧問懇談会

平成29年 4月8日(土) 11:00～13:00 松柏軒

(5) 栄養・食糧懇談会

平成30年 2月10日(土) 13:30～16:00 お茶の水女子大学

(6) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成30年 1月6日(土) 14:02～14:07 お茶の水女子大学

(7) 将来構想検討委員会

平成29年 4月16日(日) 10:30～12:30 お茶の水女子大学